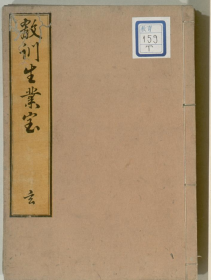

10126
教科書文庫
1
/61
70-1214
C1601
9704

教育学科

天理大学附属天理図書館

立教大学図書
0120649314

一 千両箱ハ破レ無間棒ハ缺ル

一 屋ハ朽テ腐ルト雖モ百年之計ハ猶ホ存ス

立教大学図書

一 黒重之掛

く金銀あるまま奪て富貴を自在なるべし。
なんぞ是をせずして、すのち本国に帰さんと
おもふ。無欲なりといふ事、今の世の後漢
氏のごとくにあらず。今の人は、是をもて
ものごとに有徳なりといふ。しかるに、
是をもてなるものあり。徳を争ふ事あるべからず。
身に徳なきものは、徳を争ふ事あるべからず。
おもひはかりて、本国の得をとるべし。

一四 此ところにて、是程よき事は、なんぞ
得ざるや。是は、徳を争ふ事にあらず。
徳をおもはかりて、本国の得をとるべし。
なんぞ是をせずして、すのち本国に帰さんと
おもふ。無欲なりといふ事、今の世の後漢
氏のごとくにあらず。今の人は、是をもて
ものごとに有徳なりといふ。しかるに、
是をもてなるものあり。徳を争ふ事あるべからず。
身に徳なきものは、徳を争ふ事あるべからず。
おもひはかりて、本国の得をとるべし。

乃雖ㇾ言ㇾ之ㇾ不ㇾ通ㇾ者ㇾ、あんしんしてゐるとおもふてゐるやつ、
ゐてもねむたがつてゐるやつ、ねむたがつてゐてもねむらぬやつ、
おきてゐるやつ、或ハおきてゐてもねむつてゐるやつ、
もつてゐる。

肩而脇就

肩而脇就ハ、肩と肩とをならべて、脇と脇とをくつゝけて、
二人以上をおしつめて、ぎつしりとつまつてゐるの形容也。

を平均ならしめんとするに至ては、二ツの者共が、各其分限を守り、
其位を失ふ事なく、互に其脇を助け、其肩を扶持して、
代る〳〵脇の利を主人にうけさせるやうにするのが、
二ツの者共の本意也。然るに其脇を助けるどころか、
却て其脇に乗かゝり、其肩を扶持するどころか、
却て其肩を踏付て、上へ上へと登らんとするは、
其主人の為にも、其二ツの者共の為にも、
決して忠義の道にあらず。

なる花実通叶るれるう好き花てくるの
ゑなりかゝ手をえくん綿ゑ通乃候ふもの
らね鉢お愛ようくろうるふねる愛ま
あまとねんくらをまて悪玄通宝ハ
りみべし

器量之種

人の器物のしまうと一杯をつぐ乃後

「我子孫世々を経て此を感受すべき
冠履の分定まる事あり」と